

研究会開催通知

(昭和56年4月15日～5月31日)

研 究 会	日	時	会 場	備 考
計算機アーキテクチャ	4月15日(水)	14:00～17:00	東 大	前号参照
マイクロコンピュータ	4月20日(月)	13:30～17:00	機械振興会館	同 上
コンピュータビジョン	5月14日(木)	14:00～17:30	豊橋技科大	下記参照
ソフトウェア工学	5月15日(金)	13:30～17:00	第32森ビル	同 上

◆ **第12回 コンピュータビジョン研究会** (発表件数: 4件)
 (主査: 福村晃夫, 代表幹事: 高木幹雄, 鳥脇純一郎, 田村秀行)

日 時 昭和56年5月14日(木) 午後2時～5時半
会 場 豊橋技術科学大学 語学センター講義室
 [豊橋市天伯町雲雀ヶ丘 1-1, 国鉄または名鉄: 豊橋駅下車, 駅表口より徒歩7分の豊鉄バスターミナルより, バス「技科大」行または「細谷東」行にて, 「技科大前」下車, 毎時13分および30分発, 所要時間約25分.
 Tel. 0532 (47) 0111]

- 議 題**
- (1) インタラクティブ・グラフィックス・システム——ICGS-80——
 内山宣延, 今宮淳美 (山梨大・工)
 [概要] TSS 下でのインタラクティブ・グラフィックス・システムを作成したので, その構成および機能を報告する.
 - (2) フーリエ変換を用いたテクスチャの構造解析
 松山隆司, 三浦修一, 長尾 真 (京大・工)
 [概要] 雑音や各種の歪みを含む自然テクスチャの構造記述を求める方法として, 画像のフーリエスペクトルからテクスチャの配列規則を求め, まとまりの良い要素を抽出するというトップダウン的な構造解析法について述べる.
 - (3) 並列スリット光の時系列符号化による距離測定法
 美濃導彦, 坂井利之 (京大・工), 金出武雄 (CMU)
 [概要] 3D 物体認識における新しい距離測定法として並列スリット光による方法を, 知識(符号とスリット像)の対雑音能力との関連で述べる.
 - (4) 物体移動による仮想的無限遠点を用いた3次元移動の解析
 名倉道長, 齋藤制海, 北橋忠宏 (豊橋技科大)
 [概要] 仮想的無限遠点という概念を導入し画像系列に記録された物体移動を3次元的に把握する手法と実験結果を示す.
 - (5) 豊橋技科大・情報工学科の見学

◆ 第 18 回 ソフトウェア工学研究会

(発表件数：3 件)

(主査：木村 泉，代表幹事：久保未沙，花田収悦，原田賢一)

日 時 昭和 56 年 5 月 15 日 (金) 午後 1 時半～5 時

会 場 第 32 森ビル 地下 2 階第一会議室

[東京都港区芝公園 3-4，地下鉄：日比谷線神谷町，浅草線大門，都営 6 号線御成門下車，国電：浜松町下車，バス：渋谷—東京タワー線東京タワー，等々力—東京駅八重洲線虎ノ門 5 丁目下車，機械振興会館並び浜松町寄り徒歩 1 分，東京タワー向い。Tel. 03 (591) 1351 (大代表)]

議 題 (1) 第 5 回ソフトウェア工学国際会議報告 (I) 片山卓也 (東工大・工)

[概要] 1981 年 3 月 San Diego で開催された第 5 回ソフトウェア工学国際会議の参加報告を行う。

(2) 第 5 回ソフトウェア工学国際会議報告 (II)

木村 泉 (東工大・理)

[概要] 片山氏の報告に講演者の立場から補充をするとともに，東京で開催が予定されている第 6 回ソフトウェア工学国際会議にむけて所感を述べる。

(3) フロー解析技法を応用したプログラムテスト法

花田収悦，岡 知範，永瀬淳夫 (電電・横須賀通研)

[概要] フロー解析技法を用いた誤り自動検出，パスレビューおよびパス実行網ら率測定に基づくプログラムテスト法と，その評価について述べる。

第 22 回 通常 総会 の お 知 ら せ

昭和 56 年度通常総会を下記によって開催いたします。総会の案内状は、別途郵送いたしますので、ご欠席の場合には、必ず委任状をご返送ください。

記

- 日 時 昭和 56 年 5 月 20 日(水) 13:30~14:30
- 会 場 32 森ビル(B2), 第一, 第二会議室 (東京タワー前, 機械振興会館に向って右隣
2 つ目の褐色のビル)
- 総会次第
1. 会長あいさつ
 2. 昭和 55 年度事業報告および決算報告
 3. 昭和 56 年度事業計画および予算審議
 4. 昭和 55 年度論文賞の発表と表彰
 5. 新役員の選定
 6. 名誉会員の推挙
 7. その他
- 特別講演 (14:40~15:40)
- OA ブームの背景と展望 尾関雅則 (元副会長)

第 23 回 (昭和 56 年後期) 全国大会の開催について

去る 3 月 24 日~26 日に学習院で開催されました第 22 回(56 年前期)全国大会は、延 4,500 名をこす参加者で大盛況のうち恙なく終えることができました。会員の皆様のご協力ありがとうございました。

全国大会は今年から年 2 回(春, 秋)開催されることになり、秋の第 23 回全国大会は下記により開催されます。

つきましては、次回本欄に一般講演申込み要領をお知らせいたします。

論文申込の締切りは 6 月末となる予定ですので、ご注意ください。

記

- 日 時 昭和 56 年 10 月 14 日(水), 15 日(木), 16 日(金)
- 会 場 東京大学工学部 (文京区本郷)

シンポジウム「日本文の入力方式」開催のお知らせ

情報処理の業界はまさにオフィス・オートメーション(OA)ブームの観があります。しかし、そのアキレス腱は、案外もっとも身近な日本文の入力方式にあるようです。

本学会では、「日本文入力法研究委員会」が、54年来2年間にわたり地道な調査研究を行ってきた成果にもとづき、わが国一流の多彩なる研究者の代表を一堂に集めて、標記のシンポジウムを行います。定員に制限がありますので、早目にお申込みください。

日 時 昭和56年7月2日(木) 9:00~17:00
3日(金) 9:00~17:00

場 所 機械振興会館大ホール(地下2階)

協賛学協会 印刷学会, 軽印刷協会

レセプション 7月2日(木) 17:30~

参加費 会員, 協賛学協会員 10,000円

学生会員 5,000円

非会員 15,000円

(レセプション参加費2,000円は別途)

Proceedings 当日, 会場にてお渡し致します。

申込締切 昭和56年6月19日(金)

~~~~~プログラム~~~~~

第1日 7月2日(木)

(題名は仮題です)

- ・シンポジウムを開催するに当って(9:00~9:20) 高橋 秀俊(慶大)
- ・日本文入力の現状と展望(9:20~10:20) 高橋 延匡(農工大)
- 休憩(10:20~10:40)
- ・欧米のタイプライタの歴史と日本文入力の将来(10:40~11:40) 山田 尚勇(東大)
- ・各種入力法の概要と人間工学的配慮(11:40~12:40) 渡辺 定久(電総研)
- 昼食(12:40~13:40)
- ・Human Factors on Keyboard(13:40~15:00) R. S. Hirsch(IBM)
- ・入力法にからんだ健康, 労働, 社会問題(15:00~15:40) 中村 美治(鬼子母神病院)
- 休憩(15:40~16:00)
- ・文書編集・校正との関連(16:00~17:00) 小野 芳彦(東大)
- 藤崎哲之助(日本IBM)

第2日 7月3日(金)

- ・カナ漢字変換(9:00~10:20) 牧野 寛(阪大)
- ・フルキーボード, ペンタッチ入力(10:20~11:00) 寺川 和伸(シャープ)
- 休憩(11:00~11:20)
- ・2ストローク入力法(11:20~12:20) 村山 登(リコー)
- 昼食(12:20~13:20)
- ・パネル討論「日本文入力法の将来像」(13:20~17:00)
- 司会 石田 晴久(東大)
- パネラ 神田 泰典(富士通), 坂下 善彦(三菱), 田中 康仁(ユニバック)
- 長尾 真(京大), 吹抜 敬彦(日立), 森 健一(東芝), 山崎 清一(大日本CTS)

受付 No. _____

昭和 年 月 日

シンポジウム「日本文の入力方式」参加申込書^(注1)

申込者 氏名 _____ 会員 No. _____

連絡先 〒 _____

Tel. _____

標記シンポジウムの参加を下記によって申し込みます。(該当するものを○印でかこむ。)

○参加費

正会員, 協賛学協会員, 賛助会員^(注2) 10,000 円

非会員 15,000 円

学生会員 5,000 円

○レセプション 2,000 円 (参加 不参加)

○送金方法

a. 現金書留 (同封)

b. 銀行振込 第一勧業銀行虎ノ門支店 1-013-945 三菱銀行虎ノ門支店 0000608

住友銀行虎ノ門支店 (東京公務部) 10899 三井銀行本店 4298739

富士銀行虎ノ門支店 993632

名義人 社団法人 情報処理学会

請求書類の必要な方はお申出ください。

(No.)

請求書 通, 見積書 通, 納品書 通

請求先 _____

その他 (絡連事項をご記入下さい)

(注) 1. 申込書は1枚1人として下さい。(この用紙をコピーしたものでも可)

2. 本学会賛助会員は1口1人として正会員に準じます。